

看護学科 1年 前期 専門基礎科目／専門科目

1. 解剖生理学Ⅰ
2. 解剖生理学Ⅱ
3. 免疫と感染
4. 代謝と栄養
5. 医療学入門
6. 生涯人間発達学
7. 社会福祉概論
8. 看護学概論
9. 看護技術論Ⅰ
10. 生活行動援助技術論
11. 地域・在宅看護学概論

看護学科						
科目名： 解剖生理学I				担当教員 氏名： 村井 嘉寛、島田ひろき		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：		富山大学医学部病理診断学講座で行われた病理解剖・病理解剖検討会などの経験を生かして授業している。				
授業科目の学修教育目標の概要：					キーワード	
人体の構造と機能を学ぶ。(生体の恒常性、細胞と組織、骨格・筋系、血液・循環器系、呼吸器系、体液、泌尿器系、消化器系)					細胞、骨格、筋、循環器、呼吸器、泌尿器、消化器	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			看護に活用される理論、技術を身につけるために、人体の構造や機能を理解する			
B 専門的技術			専門的看護技術を修得するために、人体の構造や機能を理解する			
C 論理的思考力			人体の構造や機能を理解し、看護の理論や技術を論理的に説明できる能力を養う			
F チームワーク・リーダーシップ			医療チームの一員であることを認識し、看護師の役割を理解する			
G 倫理観			人体の構造や機能を知ることにより、人間の尊厳を理解し、医療に携わる者としての倫理観を身につける			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 90 %		レポート： %	発表： %	実技試験： %	その他： 10 %	
特記事項：その他の10%は受講態度による。						
アクティブラーニング要素：						
課題解決型学修		ディスカッション、ディベート		○グループワーク	プレゼンテーション	実習、フィールドワーク
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：中間と期末に試験する						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：試験を採点し返却する						
使用テキスト：解剖生理学(メディカ出版)、林正健二著、ISBN978-4-8404-7831-1解剖トレーニングノート(医学教育出版社)、竹内修二著、ISBN978-4-87163-441-0				その他参考文献など： 図書館の解剖生理学関連図書		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：解剖生理学は、全ての看護科目の基礎となります。しっかり勉強してください。						
授 業 計 画					準備学修(予習・復習等)	
					学修内容	学修に必要な時間(分)
回数						
1	【村井】解剖生理学の基本的事項を理解する。(解剖学的用語)				【予習】教科書(解剖学の基本的事項)を読む。 【復習】解剖学の基本的事項	【予習】60分 【復習】60分
2	【村井】解剖生理学の基本的事項を理解する。(生体の恒常性、フィードバック機構)				【予習】教科書(解剖学の基本的事項)を読む。 【復習】解剖学の基本的事項	【予習】60分 【復習】60分
3	【島田】細胞を理解する。(細胞の構造と機能)				【予習】教科書(細胞と組織)を読む。 【復習】細胞	【予習】60分 【復習】60分
4	【島田】組織を理解する。(人体を構成する4つの組織)				【予習】教科書(細胞と組織)を読む。 【復習】組織	【予習】60分 【復習】60分
5	【村井】骨と骨格を理解する。				【予習】教科書(骨格系)を読む。 【復習】骨と骨格	【予習】60分 【復習】60分

※前ページよりつづき 看護学科

科目名： 解剖生理学I		担当教員 氏名： 村井 嘉寛、島田ひろき	
授 業 計 画		準備学修(予習・復習等)	
		学修内容	学修に必要な時間(分)
6	【村井】関節の構造と種類を理解する。	【予習】教科書(骨格系)を読む。 【復習】関節の構造と種類	【予習】60分 【復習】60分
7	【村井】筋の種類と筋の機能を理解する。	【予習】教科書(筋系)を読む。 【復習】筋の種類と筋の機能	【予習】60分 【復習】60分
8	【村井】骨格筋の解剖生理を理解する。	【予習】教科書(筋系)を読む。 【復習】骨格筋の解剖生理	【予習】60分 【復習】60分
9	【村井】血液を理解する。	【予習】教科書(血液)を読む。 【復習】血液	【予習】60分 【復習】60分
10	【村井】心臓の構造と機能を理解する。	【予習】教科書(心臓の構造と機能)を読む。 【復習】心臓の構造と機能	【予習】60分 【復習】60分
11	【村井】血管と循環を理解する。	【予習】教科書(血管と循環)を読む。 【復習】血管と循環	【予習】60分 【復習】60分
12	【村井】呼吸器系の構造と機能を理解する。	【予習】教科書(呼吸器系)を読む。 【復習】呼吸器系の構造と機能	【予習】60分 【復習】60分
13	【村井】呼吸のプロセスを理解する。	【予習】教科書(呼吸器系)を読む。 【復習】呼吸のプロセス	【予習】60分 【復習】60分
14	【村井】呼吸の調節を理解する。	【予習】教科書(呼吸器系)を読む。 【復習】呼吸の調節	【予習】60分 【復習】60分
15	【村井】体液の調節と腎臓の構造と機能を理解する。	【予習】教科書(体液と腎臓の構造と機能)を読む。 【復習】体液と腎臓の構造と機能	【予習】60分 【復習】60分
16	【村井】尿管・膀胱・尿道と排尿の生理を理解する。	【予習】教科書(泌尿器系)を読む。 【復習】尿管・膀胱・尿道と排尿の生理	【予習】60分 【復習】60分
17	【村井】食欲と咀嚼を理解する。	【予習】教科書(食欲と咀嚼)を読む。 【復習】食欲と咀嚼	【予習】60分 【復習】60分
18	【村井】嚥下と消化を理解する。(咽頭・食道・胃の構造と機能)	【予習】教科書(嚥下と消化)を読む。 【復習】嚥下と消化	【予習】60分 【復習】60分
19	【村井】消化と吸収を理解する。(小腸・肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓の構造と機能)	【予習】教科書(消化と吸収)を読む。 【復習】消化と吸収	【予習】60分 【復習】60分
20	【村井】排泄を理解する。(大腸の構造と機能)	【予習】教科書(排泄)を読む。 【復習】大腸の構造と機能	【予習】60分 【復習】60分

看護学科						
科目名： 解剖生理学II				担当教員 氏名： 村井嘉寛(とりまとめ)、炭谷英信、泉 朱子		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	1年次	前期	専門基礎科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：富山大学医学部病理診断学講座で行われた病理解剖・病理解剖検討会などの経験を生かして授業している。						
授業科目の学修教育目標の概要：					キーワード	
人体の構造と機能を学ぶ。(神経系、感覚器系、皮膚と膜、免疫系、体温調節、内分泌系、生殖器系)					神経、感覚、免疫、内分泌、生殖	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			看護に活用される理論、技術を身につけるために、人体の構造や機能を理解する			
B 専門的技術			専門的看護技術を修得するために、人体の構造や機能を理解する			
C 論理的思考力			人体の構造や機能を理解し、看護の理論や技術を論理的に説明できる能力を養う			
F チームワーク・リーダーシップ			医療チームの一員であることを認識し、看護師の役割を理解する			
G 倫理観			人体の構造や機能を知ることにより、人間の尊厳を理解し、医療に携わる者としての倫理観を身につける			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 90 %		レポート： %	発表： %	実技試験： %	その他： 10 %	
特記事項：その他の10%は受講態度による。						
アクティブラーニング要素：						
課題解決型学修		ディスカッション、ディベート	〇グループワーク	プレゼンテーション	実習、フィールドワーク	
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：中間と期末に試験する						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：試験を採点し返却する						
使用テキスト：解剖生理学(メディカ出版)、林正健二著、ISBN978-4-8404-7831-1解剖トレーニングノート(医学教育出版社)、竹内修二著、ISBN978-4-87163-441-0				その他参考文献など：図書館の解剖生理学の関連図書		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：解剖生理学は、全ての看護科目の基礎となります。しっかり勉強してください。トレーニングノートと教科書のWeb動画を活用して立体的に構造を理解しましょう。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
回数						
1	【村井】神経組織の構造と機能を理解する。			【予習】教科書(神経系)を読む。 【復習】解剖学の基本的事項	【予習】60分 【復習】60分	
2	【村井】中枢神経を理解する。			【予習】教科書(神経系)を読む。 【復習】中枢神経	【予習】60分 【復習】60分	
3	【村井】末梢神経を理解する。			【予習】教科書(神経系)を読む。 【復習】末梢神経	【予習】60分 【復習】60分	
4	【村井】生体のリズムを理解する。			【予習】教科書(神経系)を読む。 【復習】生体のリズム	【予習】60分 【復習】60分	
5	【村井】視覚、聴覚を理解する。			【予習】教科書(感覚器系)を読む。 【復習】視覚、聴覚	【予習】60分 【復習】60分	

※前ページよりつづき 看護学科

科目名： 解剖生理学II		担当教員 氏名： 村井嘉寛(とりまとめ)、炭谷英信、泉 朱子	
授 業 計 画		準備学修(予習・復習等)	
		学修内容	学修に必要な時間(分)
6	【村井】平衡感覚、嗅覚を理解する。	【予習】教科書(感覚器系)を読む。 【復習】平衡感覚、嗅覚	【予習】60分 【復習】60分
7	【村井】味覚、体性感覚を理解する。	【予習】教科書(味覚、体性感覚)を読む。 【復習】解剖学の基本的事項	【予習】60分 【復習】60分
8	【村井】皮膚と膜を理解する。体温調節を理解する。	【予習】教科書(皮膚と膜、体温調節)を読む。 【復習】皮膚と膜、体温調節	【予習】60分 【復習】60分
9	【村井】自然免疫機構を理解する。	【予習】教科書(免疫系)を読む。 【復習】自然免疫	【予習】60分 【復習】60分
10	【村井】獲得免疫機構を理解する。	【予習】教科書(免疫系)を読む。 【復習】獲得免疫	【予習】60分 【復習】60分
11	【村井】内分泌系を理解する。(視床下部、下垂体)	【予習】教科書(内分泌系)を読む。 【復習】視床下部、下垂体	【予習】60分 【復習】60分
12	【村井】内分泌系を理解する。(甲状腺、上皮小体、膵臓)	【予習】教科書(内分泌系)を読む。 【復習】甲状腺、上皮小体、膵臓	【予習】60分 【復習】60分
13	【村井】内分泌系を理解する。(副腎、性腺)	【予習】教科書(内分泌系)を読む。 【復習】副腎、性腺	【予習】60分 【復習】60分
14	【村井】生殖器系を理解する。(女性)	【予習】教科書(生殖器系)を読む。 【復習】女性の生殖器	【予習】60分 【復習】60分
15	【村井】生殖器系を理解する。(男性)	【予習】教科書(生殖器系)を読む。 【復習】男性の生殖器	【予習】60分 【復習】60分
16	【泉・炭谷】解剖トレーニングノートで解剖生理学の理解を深める。(人体の部位、骨)	【予習】教科書(人体の部位、骨)を読む。 【復習】人体の部位、骨	【予習】60分 【復習】60分
17	【泉・炭谷】解剖トレーニングノートで解剖生理学の理解を深める。(骨、消化器)	【予習】教科書(骨、消化器)を読む。 【復習】骨、消化器	【予習】60分 【復習】60分
18	【泉・炭谷】解剖トレーニングノートで解剖生理学の理解を深める。(呼吸器、循環器)	【予習】教科書(呼吸器、循環器)を読む。 【復習】呼吸器、循環器	【予習】60分 【復習】60分
19	【泉・炭谷】解剖トレーニングノートで解剖生理学の理解を深める。(循環器、泌尿器)	【予習】教科書(循環器、泌尿器)を読む。 【復習】循環器、泌尿器	【予習】60分 【復習】60分
20	【泉・炭谷】解剖トレーニングノートで解剖生理学の理解を深める。(泌尿器、生殖器)	【予習】教科書(泌尿器、生殖器)を読む。 【復習】泌尿器、生殖器	【予習】60分 【復習】60分
21	【泉・炭谷】解剖トレーニングノートで解剖生理学の理解を深める。(関節と筋)	【予習】教科書(関節と筋)を読む。 【復習】関節と筋	【予習】60分 【復習】60分
22	【泉・炭谷】解剖トレーニングノートで解剖生理学の理解を深める。(脊髄神経、脳と脊髄)	【予習】教科書(脊髄神経、脳と脊髄)を読む。 【復習】脊髄神経、脳と脊髄	【予習】60分 【復習】60分
23	【泉・炭谷】解剖トレーニングノートで解剖生理学の理解を深める。(脳と脊髄、感覚器)	【予習】教科書(脳と脊髄、感覚器)を読む。 【復習】脳と脊髄、感覚器	【予習】60分 【復習】60分
24	【泉・炭谷】解剖トレーニングノートで解剖生理学の理解を深める。(脳神経、自律神経)	【予習】教科書(脳神経、自律神経)を読む。 【復習】脳神経、自律神経	【予習】60分 【復習】60分
25	【泉・炭谷】解剖トレーニングノートで解剖生理学の理解を深める。(自律神経、内分泌)	【予習】教科書(自律神経、内分泌)を読む。 【復習】内分泌	【予習】60分 【復習】60分
26			
27			
28			
29			
30			

看護学科

科目名： 免疫と感染				担当教員 氏名： 吉井 美穂		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：細菌学における研究手法を学んだ看護師経験のある教員が、微生物の生態から人との共存における基礎的知識とその知識をもとにした感染対策の考え方について講義する。						
授業科目の学修教育目標の概要：					キーワード	
宿主となるヒトと病原体双方の性質と両者の相互関係を理解するために必要な基本的知識と方法原理を学ぶ					感染症 免疫・生体防御機構 病原体・細菌・ウイルス 寄生虫	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			生体防御機構及び感染症の診断・治療・予防法について理解する			
C 論理的思考力			感染症の臨床的特徴から対処法を論理的に説明できる能力を養う			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 80 %		レポート： %	発表： %	実技試験： %	その他： 20 %	
特記事項： 上記の「その他20%」は授業への参加姿勢や努力を評価する／事前に自己課題を考え、その課題解決に向けての対策をまとめる。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：別に定めた日時にテストを実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：最後に確認のための試験を行い、採点し返却する。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①ヒトと感染症の歴史				【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
②感染のしくみ				【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
③免疫と生体防御機構				【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
④法律による感染症予防				【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑤微生物総論				【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑥細菌の性状と主な病原細菌と疾患				【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑦ウイルスの性状と主な病原ウイルスと疾患				【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑧真菌感染症、寄生虫感染及び衛生動物				【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト：藤本秀士編：「わかる！身につく！病原体・感染・免疫」南山堂 ISBN978-4-525-16233-7				その他参考文献など： ビジュアル微生物学」ニューヴェルヒロカワ		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：感染症予防対策は、全ての行為の基本になります。基本的知識をしっかりと身につけて、よりよい看護を目指して下さい。						

看護学科

科目名：代謝と栄養				担当教員 氏名：村井 嘉寛とりまとめ、越野 庸介		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：管理栄養士としての経験を活かして授業している(越野)						
授業科目の学修教育目標の概要：					キーワード	
生体を構成する物質の性質、機能や代謝など生命を維持するための基礎と共に、食物がどのように消化・吸収されて生体で利用されているかについて学ぶ。さらに、正常な物質代謝が乱れると病気になること、そして、病気になった場合の病態解明と検査・治療法などとの関連性について学ぶ。また、実際の生活に知識を適用する基礎としての栄養と臨床栄養について学ぶ。					生化学 消化吸収 栄養 物質代謝 食育 健康づくり	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			①生体を構成する物質がどのような化合物から成り立っていて、どのような性質や機能を有するか理解する。 ②三大栄養素がどのように消化・吸収されて生体に役立っているか理解する。			
C 論理的思考力			③どのような物質代謝の乱れが病気の原因になるかを学び、その病気の原因と検査・治療法との関連性について理解する。 ④健康づくりと各栄養素とのかわり(消化・吸収・代謝)療養生活時の食事とのかわりを理解する。			
成績評価の方法・基準：以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト：90%		レポート：%		発表：%		実技試験：% その他：10%
テスト：%		レポート：80%		発表：%		実技試験：% その他：20%
特記事項：その他10%は授業の出席状況と受講態度による。(村井) その他20%は授業への参加姿勢を評価する。(越野)						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート ○グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：終了してから、テストを実施する。(村井) 4回の授業終了後レポート提出とする。(越野)						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：テストを採点し返却する。(村井) レポートにコメントを記載して返却する。(越野)						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
【村井】						
①代謝とは何か？糖質の種類、消化・吸収、グルコースの分解、グリコーゲンの代謝などについて講義する。				【予習】教科書(糖質の代謝)を読む 【復習】①の復習	【予習】60分 【復習】60分	
②脂質の種類、消化・吸収、脂肪酸の分解(β酸化)と生合成、ケトン体の生成と代謝などについて講義する。				【予習】教科書(脂質の代謝)を読む 【復習】②の復習	【予習】60分 【復習】60分	
③タンパク質・アミノ酸の役割、タンパク質の消化・吸収、アミノ酸の代謝(尿素サイクル)について講義する。				【予習】教科書(たんぱく質の代謝)を読む 【復習】③の復習	【予習】60分 【復習】60分	
④三大栄養素の代謝がどのように関連しているか、また、その代謝の乱れがどのような病気を引き起こすかについて講義する。				【予習】教科書(代謝と疾患など)を読む 【復習】④の復習	【予習】60分 【復習】60分	
【越野】						
⑤日本人の食事摂取基準・推定平均必要量、推奨量、目安量、耐容上限量、目標量について				【予習】教科書(食事摂取基準)を読む	30分	
⑥疾患別食事療法 消化器系疾患について				【予習】教科書(疾患別食事療法)を読む	30分	
⑦疾患別食事療法 内分泌・代謝疾患、循環器系疾患、腎疾患について				【予習】教科書(疾患別食事療法)を読む	30分	
⑧疾患別食事療法 摂食嚥下障害について				【予習】教科書(疾患別食事療法)を読む	30分	
使用テキスト：臨床生化学(ナーシング・グラフィカ)MCメディカ出版、宮澤恵二、ISBN978-4-8404-7832-8；臨床栄養学(ナーシング・グラフィカ)MCメディカ出版、關戸啓子、ISBN978-4-8404-4911-3						
その他参考文献など：糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂						
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 三大栄養素がどのような代謝を受けて、私達の健康に役立っているかを学び、その代謝がどのような時に崩れ、どのような病気につながっているかを理解する。(村井) 臨床栄養の実際を含めた授業内容から、具体的なイメージをつかみ、知識と結び付けて理解を深めていただけるよう講義いたします。(越野)						

看護学科

科目名： 医療学入門				担当教員 氏名： 金森 昌彦、土井 智章、数下和久、松井健一 とりまとめ 泉		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：		医療従事者としての経験に基づき、医療の実践とその課題について考える授業を行う。				
授業科目の学修教育目標の概要：						キーワード
医療に携わるものとしての自覚と意欲・倫理観を育成し強化することをねらいとして医学と医療の歴史、現状、課題と展望について学ぶ。 また、救急医療・災害医療・僻地医療・総合医療など多様な場や環境における医療のあり方とチーム医療のあり方を学び、そこにおける医療人としての看護職の役割と求められる技術について学ぶ。						医療者 倫理観 救急医療災害医療僻地医療 総合医療 チーム医療
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			医学と医療の歴史、現状、課題と展望について理解する。			
F チームワーク・リーダーシップ			救急医療・災害医療・僻地医療・総合医療など多様な場や環境における医療のあり方とチーム医療のあり方を理解し、医療人としての看護職の役割について考える。			
E 自己管理能力			地域医療について理解し、看護領域における学ぶ意欲を高める。			
B 専門的技術			救急蘇生法について知る。			
G 倫理観			医療に携わる者としての自覚と意欲・倫理観を育成・強化する。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 75 %		レポート： 25 %		発表： %	実技試験： %	その他： %
特記事項：4人の講師それぞれ25%ずつ、テストかレポートで評価とする。						
アクティブラーニング要素：						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：講義後にレポートを提出してもらった場合とテストを行う場合がある。テスト、レポート課題の詳細については、各講師から指示がある。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：【金森】レポートは評価した後に返却する。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①【数下】現在の医療現場で求められる看護職の能力・資質				・医学・看護学の歩み、医療倫理について調べておく	【予習】30分 【復習】30分	
②【数下】チーム医療とは				・チーム医療、現在の医療とその課題について事前に新聞やインターネットで調べておく	【予習】30分 【復習】30分	
③【数下】医療機関と地域とのつながり、その課題				・記憶に残っている災害について調べておく	【予習】30分 【復習】30分	
④【土井】救急医療・災害医療の現状と課題、求められる技術					90分	
⑤【金森】医学・看護学の歩み、医療倫理					90分	
⑥【松井】地域医療とは				総合診療、地域医療、へき地医療という言葉とその課題について事前に新聞やインターネットで調べておく	【予習】100分 【復習】100分	
⑦【松井】総合診療とは					【予習】100分 【復習】100分	
⑧【松井】現在の地域医療の課題と地域での看護師の役割					【予習】100分 【復習】100分	
使用テキスト： 【土井】改訂6版 救急蘇生法の指針2020 医療従事者用(へるす出版)ISBN 978-4-86719-035-7 【土井】災害看護改訂第4版 看護の専門知識を統合して実践につなげる(南江堂)ISBN978-4-524-23165-2				その他参考文献など： ・知れば変わる自分のカラダ 健康レベルを上げる「身体学」入門(福村出版) ・JRC蘇生ガイドライン2020(医学書院)ISBN978-4-260-04637-4 ・改訂第5版日本救急医学会ICLSコースガイドブック(羊土社)ISBN978-4-7581-2396-9		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：						

看護学科

科目名： 生涯人間発達学				担当教員 氏名： 石津 孝治		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：		臨床心理士としての心理臨床経験に基づき、事例を提示し、理解を深める。				
授業科目の学修教育目標の概要：					キーワード	
誕生から死に至るまでの心理学的な発達のプロセスについて学ぶ。主に発達の節目における、認知的、人格的、社会的な特徴について取り上げる予定であり、その際、内面的、力動的な観点を重視する。しかし、最近の発達心理学による客観的な知見もできるだけ素材として取り上げたい。					・発達課題 ・関係性の中での発達	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			それぞれの節目における発達の特徴が理解できる			
C 論理的思考力			発達の連続性について理解できる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 100 %		レポート： %	発表： %	実技試験： %	その他： %	
特記事項：						
アクティブラーニング要素：						
課題解決型学修		ディスカッション、ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	実習、フィールドワーク	
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：テストを採点し返却。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①乳児期の発達の特徴について学ぶ(乳児期の知覚、基本的信頼感、個人差)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
②幼児期の発達の特徴について学ぶ(分離個体化、愛着)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
③学童期の発達の特徴について学ぶ(認知発達、対人関係)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
④思春期の発達の特徴について学ぶ(自己の発達、対人関係)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑤青年期の発達の特徴について学ぶ(大人になること、同一性形成)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑥成人期の発達の特徴について学ぶ(生殖性、生産性と中年期危機)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑦老年期の発達の特徴について学ぶ(人生の受容と絶望)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑧発達の本質について学ぶ、まとめ				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
⑨試験						
使用テキスト： 服部祥子「生涯人間発達論 第3版: 人間への深い理解と愛情を育むために」 医学書院 ISBN978-4260041331				その他参考文献など：		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 客観的な研究では把握し難い、発達の内面的な領域について重点を置いて扱います。理解を深めるには、講義の素材を自分のこととして考えたり、また、自分なりに想像することが求められます。この作業を大事にしてください。						

看護学科

科目名： 社会福祉概論				担当教員 氏名： 鷹西 恒		
単 位	開講時期（年次・期）		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか： 社会福祉士等の資格を有した教員が、相談援助、自治体の各種福祉計画策定等の実務経験を生かして授業を行う						
授業科目の学修教育目標の概要：					キーワード	
看護の領域において社会福祉を学ぶことは重要である。貧困や救護、虐待、ニート、少子高齢化、年金など生活の中にある福祉的な問題に着目し、それらに法律や施策、社会保障制度がいかに作用しているかを具体的に学ぶ。また、保健、医療・福祉分野のネットワークのあり方や自立支援システムについても考察をする。					社会保険 保健 医療 福祉 社会保障	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			社会福祉の概要を学ぶことで総合的な知識力を高めることができる			
C 論理的思考力			社会福祉実践のプロセスを理解することで思考力を身につけることができる			
D 問題解決力			理論や社会事業を通して問題解決に至る方法と力を身につけることができる			
G 倫理観			福祉の学びを通して生命観や倫理観を身につけることができる			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 80 %		レポート： 15 %		発表： %		実技試験： % その他： 5 %
特記事項： その他とは授業の出席状況、姿勢、態度のことである。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：レポートは適時、最終評価は筆記試験で実施する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：レポート返却時のコメント等によってアドバイスを行う。						
授 業 計 画				準備学修（予習・復習等）		
				学修内容	学修に必要な時間（分）	
①生活と社会福祉 ～ライフスタイルの変遷と諸問題、なぜ福祉が必要なのか～				【事前】①当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分	
②社会保障制度と社会福祉				【事前】②当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分	
③わが国の社会保険制度 ～なぜ保険金を払うのか～				【事前】③当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分	
④社会福祉の歴史と援助技術				【事前】④当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑤社会福祉の諸制度と施策～自立支援のための様々な仕掛け～				【事前】⑤当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑥社会福祉行政のしくみ ～専門職はどこで働いているのか～				【事前】⑥当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑦社会保障・社会福祉改革の動向				【事前】⑦当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑧まとめ				【事前】テキスト全体の確認 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分	
使用テキスト： 新体系 看護学全書 健康支援と社会保障制度 メヂカルフレンド社 「社会福祉」ISBN：978-4-8392-3370-9				その他参考文献など： 「厚生労働白書」厚生労働省		
受講上の留意点（担当者からのメッセージ）： 事前・事後学習において、テキストだけでなく、国の指標や各種データ等にも目を通してください。						

看護学科

科目名： 看護学概論				担当教員 氏名： 山元恵子		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修	社会福祉主事任用資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：		看護実践者の経験と看護管理者・看護職能団体の代表の経験等を活かして看護の基本と看護観について講義をする。				
授業科目の学修教育目標の概要：						キーワード
・看護学を学ぶための基礎をつくるための授業である。 ・内容は「社会における専門職業としての看護とは何か」を探究する。 ・看護の歴史と看護理論、看護の目的と機能、対象の理解、看護活動の現状について学ぶ。 ・看護の倫理綱領、クリニカルラダー等を通して看護師としての姿を描くことができる。						・看護観、・看護倫理・専門職・看護理論 ・看護とは何か ・ナイチンゲール
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			①国内外の看護の基本的、総合的な看護理論から看護の本質を理解する			
B 専門的技術			②専門職として常に対象を「理解する」技術を身につけることができる。			
C 論理的思考力			③専門職として「なぜ」と「つまり」を考えを身につけ、論理的に考える訓練をする。			
D 問題解決力			④学生としてこれから看護師としての自分になるための課題を見つけ、人生設計する。			
G 倫理観			⑤専門職として生きていくための生命の尊重と倫理観を身につけることができる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 30 %		レポート： 30 %		発表： 30 %		実技試験： % その他： 10 %
特記事項：評価のその他については、出席状況や授業内の主体的な姿勢を加味し評価する。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：各単元終了後に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：テストや提出レポートに評価の数値化やコメントを記載して返却						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①【山元】看護への導入-看護師養成へのしくみと当短期大学生としての学び方と期待-				【予習】課題について事前に考えをまとめて臨む 【復習】配布資料の確認と復習 課題-「私の3年間の学習計画」提出	【予習】60分 【復習】60分	
②【山元】看護への導入-看護を学ぶ前に、私はなぜ看護を目指すのか-					【予習】60分 【復習】60分	
③【山元】看護への導入-看護とは何か-ナイチンゲールの覚書をひも解く-					【予習】60分 【復習】60分	
④【山元】看護への導入-看護とは何か-ナイチンゲールの覚書をひも解く②-					【予習】60分 【復習】60分	
⑤【山元】看護への導入-3年間の看護師を目指す自分の学習計画立案-					【予習】60分 【復習】60分	
⑥【山元】看護展開-看護の対象の理解-				【予習】60分 【復習】60分 【予習】60分 【復習】60分 課題-「看護師と生きる-自分の人生設計-」提出	【予習】60分 【復習】60分	
⑦【山元】看護展開-国民の健康状態と生活-					【予習】60分 【復習】60分	
⑧【山元】看護展開-看護の提供者としての倫理-					【予習】60分 【復習】60分	
⑨【山元】看護展開-看護の提供者としての倫理綱領の理解-					【予習】60分 【復習】60分	
⑩【山元】看護展開-卒業時に習得する看護技術とクリニカルラダー					【予習】60分 【復習】60分	
⑪【山元】看護展開-看護師としてのキャリアパスと人生設計立案-				【予習】60分 【復習】60分 【予習】60分 【復習】60分 課題-「私の看護論」提出	【予習】60分 【復習】60分	
⑫【山元】看護展開-看護理論をひも解く①-					【予習】60分 【復習】60分	
⑬【山元】看護展開-看護理論をひも解く②-					【予習】60分 【復習】60分	
⑭【山元】まとめ-私の看護論についてを発表会①-					【予習】60分 【復習】60分	
⑮【山元】まとめ-私の看護論について発表会②-					【予習】60分 【復習】60分	
使用テキスト： ・系統看護学講座 看護学概論① 医学書院 ISBN 978-4-260-03862-1 ・新版ナイチンゲール『看護覚え書』イラスト・図解でわかる! 著者金井一薫 西東社				その他参考文献など： ・実践に活かす看護理論19編集城ヶ端初子サイオ出版		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： ・看護師を目指すものとして看護学概論は出発点であり、終着点です。 ・看護のすべてはここから始まりここに戻り、看護師としての自分探しの旅のスタートです。						

看護学科						
科目名： 看護技術論 I				担当教員 氏名： 高橋絹代		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：		ICUの実務経験から、患者の身体サインをどのように捉えるか、解剖生理を基本として基本的考え方、基本的技術を教授する				
授業科目の学修教育目標の概要：						キーワード
看護実践として活用されている看護技術について必要な基礎知識、技術、態度について学習する。また看護実践を展開するための方法として人間関係を成立・発展させる技術の理解を深め、対象の状態を判断するために必要な基礎的知識や技術を習得する。						コミュニケーション技術 ヘルスアセスメント フィジカルアセスメント
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			対象の状態を判断するための必要な基礎的知識や技術を取得できる。看護の対象である人々の安全、安楽、自立、個別性を支えるために正確な知識、技術習得の必要性が分かり、身に付けることができる			
B 専門的技術			バイタルサイン測定技術を取得できる。 フィジカルアセスメントのための技術が取得できる			
C 論理的思考力			科学的、分析的思考で対象の問題解決を図ることができる			
E 自己管理能力			自己の健康管理が正しく行え、演習に参加することができる。また、看護技術習得状況を把握し技術獲得のために積極的に学ぶことができる			
F チームワーク・リーダーシップ			演習やグループワークを通して、リーダーシップ、メンバーシップなど自己の役割を理解し取り組める。また技術実践において良好なコミュニケーションで人間関係を構築できる			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 50 %		レポート： 30 %		発表： %	実技試験： 10 %	その他： 10 %
特記事項：初回講義時にレポートの提出や試験方法について提示する。						
アクティブラーニング要素：						
課題解決型学修 ディスカッション・ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：レポートの項目は講義内で伝える。試験は講義予定の最終日とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：レポートはキーワードが適切に解説されているかを確認し、不足部分を指摘したうえで返却。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①【高橋】オリエンテーション(看護技術1の学修内容と進め方) 看護技術の考え方				テキスト、ナースングスキル等の確認	予習120分 復習30分	
②【高橋】コミュニケーション 面接の実際 カウンセリング技法の実際				テキスト、ナースングスキル等の確認、課題レポート	予習120分 復習30分	
③【高橋】コミュニケーション 情報収集 コミュニケーションに障害を有する人の対応				テキスト、ナースングスキル等の確認、課題レポート	予習120分 復習30分	
④【高橋】ヘルスアセスメント 観察とアセスメントの実際				テキスト、ナースングスキル等の確認、課題レポート	予習120分 復習30分	
⑤【高橋】ヘルスアセスメント バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸、体温、意識)				テキスト、ナースングスキル等の確認、課題レポート	予習120分 復習30分	
⑤【高橋】ヘルスアセスメント バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸、体温、意識)				テキスト、ナースングスキル等の確認、課題レポート	予習120分 復習30分	
⑦【高橋】フィジカルアセスメント (視診、聴診、打診)(計測)				テキスト、ナースングスキル等の確認、課題レポート	予習120分 復習30分	
⑧【高橋】フィジカルアセスメント(呼吸器系)				テキスト、ナースングスキル等の確認、課題レポート	予習120分 復習30分	
⑨【高橋】フィジカルアセスメント(循環器系)				テキスト、ナースングスキル等の確認、課題レポート	予習120分 復習30分	
⑩【高橋】フィジカルアセスメント(乳房、腹部)				テキスト、ナースングスキル等の確認、課題レポート	予習120分 復習30分	
⑪【高橋】フィジカルアセスメント(筋、骨格系)				テキスト、ナースングスキル等の確認、課題レポート	予習120分 復習30分	
⑫【高橋】フィジカルアセスメント(神経)				テキスト、ナースングスキル等の確認、課題レポート	予習120分 復習30分	
⑬【高橋】フィジカルアセスメント(頭部・感覚器)				テキスト、ナースングスキル等の確認、課題レポート	予習120分 復習30分	
⑭【高橋】フィジカルアセスメント(外皮)(心理・社会的)				テキスト、ナースングスキル等の確認、課題レポート	予習120分 復習30分	
⑮【高橋】看護技術論における知識のまとめ				テキスト、ナースングスキル等の確認、課題レポート	予習120分 復習30分	
使用テキスト：茂野香おる：系統看護学講座：専門分野 I 基礎看護学2 基礎看護技術 I、医学書院 ISBN978-4-260-042011-6 任和子：根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術 第3版、医学書院 ISB N978-4-260-04790-6				その他参考文献など： 守田奈美子：写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス、インターンメディアカ ISBN978-4-89996-408-7		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：授業では指定テキストの他に血圧計、聴診器、ナースウオッチ持参する。看護実践の基礎となる科目です。確実な技術を身につけられえるように積極的に受講してください。						

看護学科					1 年	
科目名： 生活行動援助技術論					担当教員 氏名:高田亮子とりまとめ 他	
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法		備考
2	1年次	前期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：			日常生活行動が人間にとって最も重要な援助である。基本的欲求を満たすために、臨床現場で対象となる人々に安楽で心地よいケアが提供できる根拠のある技術修得に向けて、より体感型の構成としたい。			
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード	
生活に関する行動の意義を理解し、個々の健康レベルに合わせ生理的欲求に関するニーズに対応し、根拠に基づいた援助ができる。					生活行動 個々のニーズ 根拠に基づく援助	健康レベル 生理的欲求
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			人間にとっての環境、活動・運動、食事、排泄、清潔など、それぞれの意義を理解することができる。			
B 専門的技術			個々の健康レベルに合わせ、生理的欲求に関わるニーズに応えることができる。			
C 論理的思考力			看護行為にあたり、その根拠を述べることができる。			
G 倫理観			援助にあたり、個人のプライバシーを守る配慮ができる。			
H コミュニケーション力			対象のニーズに対応するためのコミュニケーション力を養う。			
成績評価の基準と方法： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 60 %		レポート： 20 %		発表： %	実技試験： 10 %	その他： 10 %
特記事項：テスト:60%は、国家試験対策を踏まえた各単元の要点を問う筆記試験、レポート:20%は、ケアの視点と根拠の理解度を評価する。その他:10%では、演習時の取り組み状況や授業に対する姿勢を評価する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 各単元ごとに課題提示あり。演習では適宜技術の確認を行う。第30回に各単元別要点整理の試験を実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 提出された課題は確認し不足等の指摘を行ったうえで点数化し、評価に含める。						
使用テキスト： ①系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ「基礎看護学③」 医学書院 ISBN978-4-260-04212-3 ②任和子：根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術 第3版、医学書院 IS BN978-4-260-04790-6					その他参考文献など： ・解剖生理学(メディカ出版) ・看護が見える①基礎看護技術 メディックメディア	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 実習室を使用しての自己学習を支援しますので、積極的に予習・復習に取り組んでください。						
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)	
回数	項 目			学 習 内 容		学習に必要な時間(分)
1	【高田】オリエンテーション、看護における安全・安楽 安全を守る意義 安全確保、看護と事故、事故分析、事故対策			テキスト・ナースングスキルの確認 予習テキストP462～469をまとめる		予習(60分) 復習(60分)
2	【高田】看護における安全 安全管理の技術①感染予防の技術 感染予防の意義と方法、消毒法、医療廃			テキスト・ナースングスキルの確認 予習テキストP423～435をまとめる		予習(60分) 復習(60分)
3	【高田】手洗い、個人防護具の扱い方、薬液消毒(演習)			課題の整理		予習(60分) 復習(60分)
4	【高橋】環境調整技術 療養生活の環境 病室の環境のアセスメントと調整・病 床環境を整える 課題:ベッドメイキングの手順			テキスト・ナースングスキルの確認 予習テキストP11～20をまとめる		予習(60分) 復習(60分)
5	【高橋】病床環境を整える(演習:ベッドメイキング A、B別日)			ナースングスキルの確認		予習(60分) 復習(60分)
6	【高橋】病床環境を整える(演習:ベッドメイキング A、B別日)			テキスト・ナースングスキルの確認、課題のま とめ、テキストP20～22をまとめる		予習(60分) 復習(60分)

※前ページよりつづき

看護学科

1 年

科目名：生活行動援助技術論		担当教員 氏名:高田亮子とりまとめ 他	
授 業 計 画		準備学習(予習・復習等)	
		学習内容	学習に必要な時間(分)
7	【高橋】基本的活動の援助、体位・体位変換	課題の整理	予習(60分) 復習(60分)
8	【高橋】体位・体位変換、ボディメカニクス・移動・移乗(演習:A、B 別日)(演習)歩行介助(歩行器、杖歩行、松葉づえ)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
9	【高橋】体位・体位変換、ボディメカニクス・移動・移乗(演習:A、B 別日)(演習)歩行介助(歩行器、杖歩行、松葉づえ)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
10	【高橋】睡眠と休息の援助	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
11	【泉】食事援助技術の基礎知識	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
12	【泉】食事介助・口腔ケア(講義と演習:A、B 別日)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
13	【炭谷】排泄援助技術の基礎知識(自然排尿および自然排便の介助)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
14	【炭谷】排泄援助技術の基礎知識(排便を促す援助)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
15	【炭谷】排泄:排泄の援助:床上排泄の援助・おむつ交換・陰部洗浄(演習:A、B 別日)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
16	【炭谷】排泄:排泄の援助:床上排泄の援助・おむつ交換・陰部洗浄(演習:A、B 別日)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習(テキストP59～86)・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
17	【高田】中間試験(前半の知識のまとめ)	テキスト・ナーシングスキルの確認 前回のレポートの予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
18	【泉】清潔の援助の基礎知識	テキスト・ナーシングスキルの確認 前回のレポートの予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
19	【泉】病床での衣生活の援助	テキスト・ナーシングスキルの確認 前回のレポートの予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
20	【泉】清潔の援助の実際①清拭	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習(テキストP185～188)・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
21	【泉】清潔の援助の実際②洗髪・部分浴	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
22	【泉】洗髪①(演習:A、B 別日)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
23	【泉】洗髪②(演習:A、B 別日)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
24	【泉】手浴・足浴①(演習:A、B 別日)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
25	【稲垣】衣生活・清潔の援助②(演習:A、B 別日)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
26	【稲垣】衣生活・清潔の援助②(演習:A、B 別日)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
27	【稲垣】衣生活・清潔の援助・リネン交換②(演習:A、B 別日)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
28	【稲垣】衣生活・清潔の援助・リネン交換②(演習:A、B 別日)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
29	【高田】生活行動に関わる援助についてのまとめ(試験)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)
30	【高橋】生活行動に関わる援助についてのまとめ、実技試験(車椅子への移動)	テキスト・ナーシングスキルの確認 予習・復習の課題プリント	予習(60分) 復習(60分)

看護学科

科目名： 地域・在宅看護学概論				担当教員 氏名： 荒木晴美とりまとめ 服部麻理生 他		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：		病院、訪問看護事業所管理者(訪問看護、居宅介護、福祉用具貸与)、介護認定調査員などの実務経験を活かして、地域と在宅で暮らす人々の理解、看護職の役割について教授する。				
授業科目の学修教育目標の概要：					キーワード	
地域・在宅看護論は、地域に住むあらゆる健康レベルの人々が、その人らしく住みなれた地域で暮らし続けることを支援することを目的とする。そのためには、地域で生活する人々の暮らしを理解するとともに暮らしが健康に与える影響を理解することが必要である。地域で暮らす人々の健康課題を理解するために、ここでは、長寿、少子高齢社会について学び、暮らしが生活に与える影響について考える。また、あらゆる人々が住みなれた地域で暮らし続けるために多様な場で健康を支える看護職の役割について学ぶ。					暮らしと健康 地域 予防活動 地域包括ケア 家族看護	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			広い視野で長寿、少子高齢社会について考え、地域と在宅という場の特徴を捉え、あらゆる人が住み慣れた地域で暮らし続けるための支援ができるようになるために ①地域・在宅看護の概念、対象、方法について理解する ②多様な場で働く看護職の役割について考える			
C 論理的思考力			ディスカッションを行う中で、論理的思考力、自己管理能力、チームワーク、コミュニケーション力を向上させる。			
D 問題解決力						
G 倫理観						
H コミュニケーション力						
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 60 確認テスト 含む		%	レポート： 30	%	発表： %	実技試験： %
					その他： 10	%
特記事項：本科目はアクティブ・ラーニングの一環としてグループワーク、討論により地域・在宅で暮らす人々の理解と地域包括ケアについての考え方を深め、看護師としての役割を学ぶことを狙いとしています。その他10%は取り組み具合を評価します。						
アクティブラーニング要素：						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：中間と最終にテストをします。適宜課題の発表を課します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：課題は後日返却します。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①【荒木】 ガイダンス、地域・在宅看護の学び方、地域・在宅看護の概念				【予習】テキスト1序章、第1章 テキスト2 第1章熟読 【復習】ポイントをノートにまとめる	【予習】60分 【復習】60分	
②【荒木】 社会・自然環境の変化と看護、健康な暮らし、暮らしの中の看護の変遷				【予習】テキスト1第1章該当ページ、テキスト2 第1章、2章熟読 【復習】該当ページノートにまとめる	【予習】60分 【復習】60分	
③【荒木】 暮らしの基盤としての地域の理解				【予習】テキスト1第2章該当ページ熟読 【復習】ポイントをノートにまとめる	【予習】60分 【復習】60分	
④【荒木】 地域・在宅看護での予防活動 地域包括ケアシステムと地域共生社会				【予習】テキスト1第2章該当ページ、テキスト2第3章熟読 【復習】①ポイントをノートにまとめる	【予習】60分 【復習】60分	
⑤【荒木】 地域で生活する人々の理解 (ゲストスピーチ：当事者による実体験を聴講)				【予習】当事者の疾患について調べる 【復習】レポート課題、地区踏査準備	【予習】60分 【復習】60分	
⑥【荒木】 健康と暮らしを支える看護 地域の理解 地区踏査				【予習】テキスト1第2章該当ページ熟読、校区の人口、高齢化率、資源等について調べておく 【復習】課題シートによるまとめ	【予習】60分 【復習】60分	
⑦【荒木】 健康と暮らしを支える看護 地域の理解 地区踏査				【予習】発表準備 【復習】次回確認試験学習	【予習】60分 【復習】60分	
⑧【荒木】 暮らしの基盤としての地域の理解 地区踏査のまとめ				【予習】テキスト1第3章該当ページ熟読 【復習】ポイントをノートにまとめる	【予習】60分 【復習】60分	
⑨【荒木】 確認テスト 地域に暮らす家族を対象とした看護 家族の理解				【予習】テキスト1第3・4章該当ページ熟読 【復習】ポイントをノートにまとめる	【予習】60分 【復習】60分	
⑩【荒木】 地域に暮らす家族を対象とした看護 家族システム				【予習】職種について調べる 【復習】授業の概要をノートにまとめる	【予習】60分 【復習】60分	
⑪【荒木】 地域・在宅看護の実践 (ゲストスピーチ：保育園での看護等)				【予習】職種について調べる 【復習】授業の概要をノートにまとめる	【予習】60分 【復習】60分	
⑫【荒木】 地域・在宅看護の実践 (ゲストスピーチ：産業保健等)				【予習】テキスト1第4章 【復習】授業の概要をノートにまとめる	【予習】60分 【復習】60分	
⑬【荒木】 地域における暮らしを支える看護 暮らしの中での危機管理				【予習】職種について調べる 【復習】授業の概要をノートにまとめる	【予習】60分 【復習】60分	
⑭【服部】 地域・在宅看護の実践 (訪問看護ステーション管理者)				【予習】テキスト1第4部第8章、テキスト2第4章熟読 【復習】ポイントをノートにまとめる	【予習】60分 【復習】60分	
⑮【荒木】 地域・在宅ケアシステム 主な法・制度・施策(社会保障、医療保険・介護保険)				【予習】授業の振り返り 全体の復習 【復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分	
⑯【荒木】 まとめとテスト						
使用テキスト： 1. 地域・在宅看護の基盤 医学書院 河原加代子 ISBN 978-4-260-04689-3C3347 2. 基礎からわかる地域・在宅看護論、照林社、編著：池西静江 ISBN:978-4-7965--9				その他参考文献など： 国民衛生の動向		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：地域で暮らす人々の生活に目を向けましょう。自分が自宅での生活の中で、障害や病気をもらったとき、現在と生活がどのように変化するかを考えながら学習を進めてください。						